

I 『百科全書』について述べた次の文章を読んで、問1～問4に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて番号で解答用紙の〔解答欄 A〕の所定の欄に記入しなさい。

数学者・物理学者の（ア）や、エカチェリーナ2世とも交遊のあった哲学者・作家の（イ）らが編集した『百科全書』は、近代的理性に基づく科学・技術や思想の体系化をめざし、新たな時代の基礎となった。多数の執筆者のなかには、（a）、（b）などの著名な思想家が含まれていた。（ア）が執筆した「百科全書序論」には、近代的学問の発展に寄与した人物の業績が紹介されている。A スコラ学を越えて哲学を発展させた代表的人物としてフランシス＝ベーコンを取り上げ、次いで、哲学者であり、かつ幾何学に代数学を適用した功績をもつ（c）について述べている。また、万有引力の法則を発見したニュートンに加えて、惑星の運行法則を発見したドイツの（d）、天文学、力学で業績のあったイタリアの（e）、血液循環の仕組みを発見したイギリスの（f）らの名が挙げられている。

問1 上の文章中の（ア）、（イ）に入る人名を、〔解答欄 B〕の所定の欄に記入しなさい。

問2 下の史料 A は上の文章中の（a）の、史料 B は上の文章中の（b）の、史料 C は上の文章中の（c）の人物の著作からの引用である（出典は解答の参考となるため省略した）。これらの史料を参考にして、（a）～（c）に入れるのにもっとも適切な人名を次の1～6からそれぞれ選びなさい。

1. ヴォルテール 2. デカルト 3. パスカル 4. ホッブズ 5. モンテスキュー 6. ロック

史料 A

中間的、従属的そして依存的な諸権力が君主政体、すなわち、基本的諸法律によって一人が支配する政体の本性を構成する。……最も自然な従属的・中間権力は貴族の権力である。貴族はどういう態様においてであれ君主政の本質の中に含まれるのであり、その基本的格率は次のごとくである。君主なくして貴族なく、貴族なくして君主なし。もっとも、世には専制君主というものはある。

史料 B

自由人としてイギリス人は、自分の気に入った道を通して天国へ行く。……フランスでは、放蕩三昧で世間に知られ、色事を利用して司教の地位に登った若造が、……恋唄をつくって浮かれ興じ、毎日のようにごちそうの並んだ晩餐会を延々と続け、そしてその席から聖霊の光を祈願しに出かけたり、厚かましくも使徒の後継者であると名のつたりするという話を聞いては、イギリスの聖職者たちも自分らがプロテスタントであるのを神に感謝することであろう。

史料 C

……私は、それまでに私の精神に入りきたったすべてのものは、私の夢の幻想と同様に、真ならぬものである、と仮想しようとした。しかしながら、そうするとただちに、私は気づいた、私がこのように、すべては偽である、と考えている間も、そう考えている私は、必然的に何ものかでなければならぬ、と。

問3 上の文章中の（d）～（f）に入れるのにもっとも適切な人名を次の1～6からそれぞれ選びなさい。

1. ガリレイ 2. ケプラー 3. ハーヴェイ 4. ボイル 5. ラヴォワジェ 6. リンネ

問4 下線部 A のスコラ学の「普遍論争」とは何か。2つの対立する説の名称とそれぞれの主張者を1名挙げて、〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

Ⅱ オスマン帝国の盛衰について述べた次の文章を読んで、以下の問5～問10に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて番号で解答用紙の〔解答欄 A〕の所定の欄に記入しなさい。

A 13世紀末にアナトリアから勃興したオスマン帝国はスレイマン1世のもとで最盛期を迎え、ヨーロッパ世界に大きな圧力を加えた。しかし、B 多民族・多宗教が共存する強大な帝国も、その後、第2次ウィーン包囲に失敗し（ア）でハンガリー等を失った。18世紀には（a）がヨーロッパ文化を積極的に取り入れたチューリップ時代があり、19世紀には（b）が帝国の建て直しのためにC タンジマートを展開するが、20世紀初頭のD 青年トルコ革命を経て、帝国は解体するに至った。

問5 上の文章中の（ア）に入る条約名を、〔解答欄 B〕の所定の欄に記入しなさい。

問6 上の文章中の（a）、（b）に入れるのにもっとも適切な人名を次の1～5からそれぞれ選びなさい。

- | | | |
|----------------|----------------|-----------|
| 1. アブデュル＝ハミト2世 | 2. アブデュル＝メジト1世 | 3. アフメト3世 |
| 4. バヤジット1世 | 5. メフメト2世 | |

問7 下線部 A に関して、オスマン帝国の盛衰に関連する以下の（1）～（3）に答えなさい。

（1） 次の1～5を年代の古い順に並べ替え、2～4番目の番号を所定の解答欄の左から順に記入しなさい。

1. ニコポリスの戦いで、ハンガリー王らの軍を破った。
2. ビザンツ帝国のコンスタンティノープルを陥落させた。
3. プレヴェザの海戦で、スペイン・ヴェネツィア等の連合艦隊を破った。
4. マムルーク朝を滅ぼして、シリア・エジプトを併合した。
5. レパントの海戦で、スペイン・ヴェネツィア等の連合艦隊に敗れた。

（2） 上の（1）の1～5の中で、スレイマン1世の時代の出来事を1つ選びなさい。

（3） スレイマン1世の治世と同時期の、a. フランス王と、b. 神聖ローマ皇帝を、それぞれの語群から選びなさい。

[a. フランス王]

- | | | | | |
|----------|----------|------------|----------|----------|
| 1. アンリ3世 | 2. アンリ4世 | 3. フランソワ1世 | 4. ルイ12世 | 5. ルイ13世 |
|----------|----------|------------|----------|----------|

[b. 神聖ローマ皇帝]

- | | | |
|---------------|--------------|---------------|
| 1. カール5世 | 2. カール6世 | 3. フェルディナント2世 |
| 4. フェルディナント3世 | 5. マクシミリアン1世 | |

問8 下線部 B に関連して、オスマン帝国の内政に関する次の文章中の（a）～（c）に入れるのにもっとも適切な事項を下の1～8から選びなさい。

オスマン帝国内のキリスト教徒などは（a）とされ、その共同体である（b）には自治が認められた。また、帝国内のキリスト教徒の子弟を徴募する（c）制度から、スルタン直属のイエニチェリ軍団が組織された。

- | | | | |
|----------|----------|--------------|--------|
| 1. ウラマー | 2. カーヌーン | 3. カピチュレーション | 4. ジズヤ |
| 5. シャリーア | 6. ズインミー | 7. デウシルメ | 8. ミット |

問9 下線部 C のタンジマートの内容を、〔解答欄 B〕 の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問10 下線部 D の青年トルコ革命の内容とその国際的背景を、〔解答欄 B〕 の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

Ⅲ 近代ヨーロッパの都市開発について述べた次の文章を読んで、以下の問11～問15に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて番号で解答用紙の〔解答欄 A〕 の所定の欄に記入しなさい。

近代ヨーロッパでは国家的な規模での都市整備・開発がしばしば進められた。フランスでは、A ルイ14世の在位中にヴェルサイユ宮殿が建造された。B 第二帝政期にはパリ市内で多くの大通りや広場が整備されたが、そうした大改造には、C 民衆と体制との衝突の舞台となった古い街並みを一扫し、治安改善を図る目的もあった。イギリスでは、D 英蘭戦争のさなかに起こったロンドン大火を受けた再開発が行なわれた。E ヴィクトリア女王の在位中にはロンドン万国博覧会が開催され、その収益で会場周辺地域の整備が進められた。

問11 下線部 A に関連して、以下の（１），（２）に答えなさい。

（１）ルイ14世のもとでフランス東インド会社を再興し、財務総監にも任命された人物名を、〔解答欄 B〕 の所定の欄に記述しなさい。

（２）ルイ14世の時代には北米植民地をめぐるイギリスとの対立が激化したが、やがてイギリスが優位となって北米植民地を拡大していった。次の a、b としてもっとも適切なものを下のそれぞれの語群から1つずつ選びなさい。

a. イギリスがルイ14世の治世にフランスから獲得した北米植民地

b. その植民地獲得ともっとも関係の深い戦争

[a. 植民地]

1. ヴァージニア 2. ニューファンドランド 3. フロリダ 4. ミシシッピ以東のルイジアナ

[b. 戦争]

1. 英蘭戦争 2. オーストリア継承戦争 3. 七年戦争 4. スペイン継承戦争

問12 下線部 B に関連して、第二帝政期のフランスはイギリスとともに中国に対してアロー戦争を起こし、この戦争以降、列強の中国進出が加速していった。列強の中国進出に関する以下の（１），（２）に答えなさい。

（１）アロー戦争後、清朝が対外関係事務を行なうために新設した機関の名称を、〔解答欄 B〕 の所定の欄に記述しなさい。

（２）次の史料は、列強の一国が自国の海外駐在大使に送った文書の一部である（必要に応じて文章の一部を省略または表現を変更した。出典は解答の参考になるため省略した）。下線部の北京の状況をもたらしした事件とその結末を、〔解答欄 B〕 の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

我々は北京の状況を実質的な無政府状態とみなしている。……我々の目的はこの混乱の他地域への波及や再発を防ぐうえで他の列強と協力することにある。……政府の方針は、中国に恒久的な安全と平和をもたらさうる解決策を求め、中国の領土・行政の実体を保全し、……中国全域での平等公正な交易という原則を世界のために守ることである。

問13 下線部 C に関連して、1848年のフランスの政治状況に関する次の 1～4 の出来事を年代の古い順に並べ替え、所定の解答欄の左から順に記入しなさい。

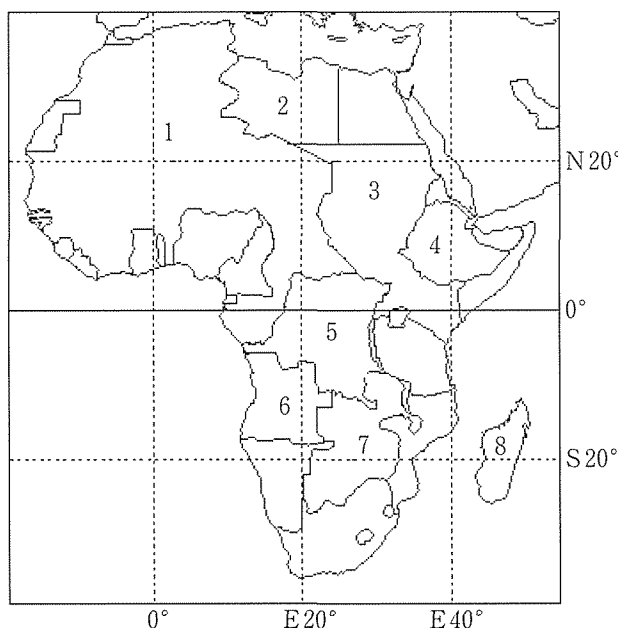
1. 国立作業場の閉鎖をきっかけに六月蜂起が起こった。
2. 大統領選挙でルイ＝ナポレオンが当選した。
3. 国民議会選挙が行なわれ、穏健共和派が勝利した。
4. ルイ＝フィリップが退位した。

問14 下線部 D に関連して、イギリスとオランダの覇権争いについて述べた次の 1～4 の文章の中から誤りを含むものを 1 つ選びなさい。

1. オランダは、アンボyna事件を機にマラッカを根拠地とするイギリスの勢力を駆逐し、その後、東インド会社を設立して東南アジア交易の実権を握った。
2. イギリスでは、チャールズ 1 世が処刑され共和政が樹立された後、航海法が制定された。そのためオランダは中継貿易に打撃を受け、両国の間で戦争が勃発した。
3. ケープ植民地は、オランダがアジア交易の中継地として開いたが、ナポレオン戦争後のヨーロッパ秩序の回復をめざしたウィーン会議によって、イギリスの領有が認められた。
4. 第 1 次から第 3 次までの英蘭戦争の間に、イギリスはオランダの北米植民地であるニューアムステルダムを奪ってニューヨークと改称した。

問15 下線部 E に関連して、イギリスのアフリカ大陸への進出に関する以下の (1)、(2) に答えなさい。

- (1) アフリカ大陸において、20世紀初頭に、a. イギリス領だった地域と、b. フランス領だった地域として適切なものを、次の地図上の 1～8 の中からそれぞれ 2 つずつ 選びなさい。(順不同)



- (2) ウラビーの反乱が起きてから英仏協商が結ばれるまでの時期の、アフリカ大陸進出における英仏の対立の経過とその帰結を、〔解答欄 B〕 の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

IV 社会主義思想と社会主義国の歴史について述べた次の文章を読んで以下の問16～問21に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて番号で解答用紙の〔解答欄 A〕の所定の欄に記入しなさい。

18世紀後半からイギリスで始まった産業革命によって機械制大工業が成立し、資本主義システムが経済を支配するようになった。A 生産力が急速に発展するとともに資本家と労働者との対立も深まり、資本主義体制そのものの変革をめざす社会主義思想が生まれた。この思想とそれに基づく運動はやがて世界に広がり、20世紀にはいって、B ロシア革命によって社会主義政権が成立した。ロシア革命直後には、革命の波及を恐れる英・日・仏・米などの諸国は対ソ干渉戦争を実行したが、C 第二次世界大戦ではソ連は連合国の一員となった。第二次世界大戦後には社会主義を標榜する国家は世界に拡大し、D 米ソ両陣営の対立が深まって E 核戦力を中心とする軍拡競争が始まった。F 米ソ両国の経済はやがて軍拡競争の負担に耐え切れなくなり、1980年代末には米ソ両首脳が冷戦の終結を宣言した。東欧諸国などは次々に社会主義から離脱し、ソ連は国自体が消滅した。

問16 下線部 A に関して、産業革命期の技術についての次の文章を読んで、以下の（１）、（２）に答えなさい。

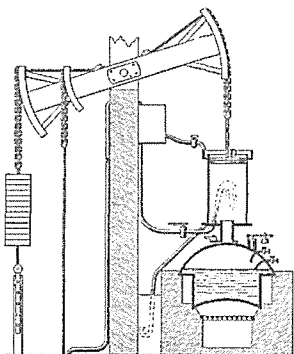
産業革命は綿工業部門で始まり、機械化によって綿製品が大量に生産されるようになった。綿工業のための主な発明として、ジョン＝ケイの飛び杼、（a）のジェニー紡績機、クロンプトンのミュール紡績機、（b）の力織機などがあげられる。また、18世紀後半に（c）が改良した蒸気機関は、蒸気圧によるピストンの上下運動を回転運動に変換するなど優れた性能をもっており、紡績機械や織機の動力として利用されると綿工業の生産は飛躍的に増大した。

（１） 上の文章中の（a）～（c）に入れるのにもっとも適切な人名を次の1～6の中からそれぞれ1つずつ選びなさい。

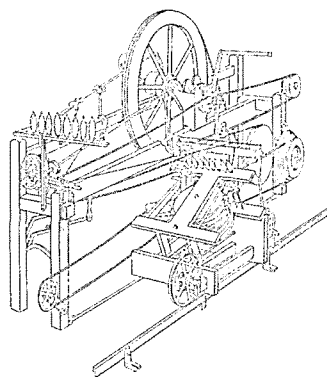
1. アークライト 2. カートライト 3. スティーヴンソン 4. ニューコメン 5. ハーグリーブズ 6. ワット

（２） 次の1～4の図の中から、上の文章中の（a）のジェニー紡績機、（c）の蒸気機関としてもっとも適切なものをそれぞれ1つずつ選びなさい。

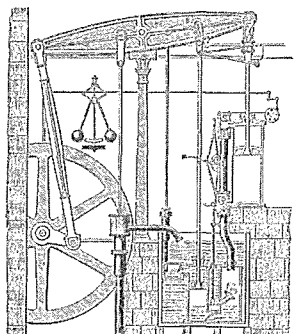
1



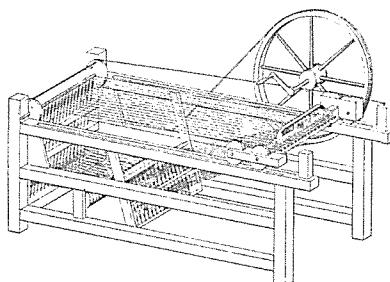
2



3



4



問17 下線部 B に関連して、ロシア革命前後のロシアの状況についての以下の（１）～（３）に答えなさい。

（１） ロシア革命以前の状況について述べた次の１～４の文章の中から誤りを含むものを１つ選びなさい。

1. ロシアがオスマン帝国に侵入して始まったクリミア戦争に敗北したのち、アレクサンドル 2 世は農奴解放令を出して農奴の人格的自由を認めたが、農地は有償で分与された。
2. ポーランドの蜂起後、アレクサンドル 2 世が専制政治を強化したのに対して、帝政を打倒し、ミールを基盤として新社会を建設しようとするナロードニキ運動が展開された。
3. フランスからの資本導入によって産業革命が進むなか、プレハーノフやレーニンらがロシア社会民主労働党を結成したが、ボリシェヴィキとメンシェヴィキに分裂した。
4. 日露戦争がポーツマス条約によって終了すると、戦争中に抑圧されていた労働者たちが血の日曜日事件を起こし、これをきっかけとしてロシア第一革命が始まった。

（２） 第一次世界大戦開始以降の状況について述べた次の１～４の文章の中から誤りを含むものを１つ選びなさい。

1. ロシアはセルビアを支持してドイツと戦ったが、戦争が長期化するなか、ペトログラードでは民衆が食糧や平和を求めて大規模なデモやストライキを行なった。
2. 戦争反対・帝政打倒の動きは軍隊にも広がり、レーニンは労働者や兵士を組織してソヴィエトを結成した。国会では社会革命党を中心とする臨時政府が樹立され、ニコライ 2 世は退位した。
3. 帝政崩壊後、レーニンは四月テーゼを提示してボリシェヴィキの勢力拡大を進め、臨時政府の首相となった社会革命党のケレンスキーとの間の対立は深まった。
4. ボリシェヴィキは武装蜂起して臨時政府を倒し、無併合・無賠償・民族自決の原則による即時講和を呼びかける「平和に関する布告」や、土地の所有権についての「土地に関する布告」を出した。

（３） 次の a～c の事項は、下の年表のどこに入れるのが適切か。年表中の空欄 1～5 からそれぞれ選びなさい。（重複使用不可）

a. 新経済政策（ネップ）の開始 b. 第 1 次五カ年計画開始 c. ブレスト＝リトフスク条約締結

1

コミンテルン創設

2

ヴェルサイユ条約にドイツと連合国側が調印

3

シベリアから日本が撤退完了

4

ソヴィエト社会主義共和国連邦（ソ連）の結成

5

問18 下線部 C に関連して、次の a～c は大戦中に連合国が締結した協定や発表した宣言の一部である（必要に応じて書式や文章の一部の表現を変更した。また c の X は国名である）。これらの協定・宣言が締結または発表された時期としてもっとも適切なものを下の年表中の 1～7 からそれぞれ選りなさい。（重複使用不可）

a

我々 3 カ国は、戦争および戦後に到来する平和に関してともに行動する旨の決意を表明する。……戦争については我々はドイツ軍隊撃滅のための計画を協定した。……
地球上のいかなる力も、我々が、陸上においてはドイツ陸軍を、海洋においてはその U ボートを、そして空からはその軍事施設を、撃滅することを妨げることはできない。

b

我々は、日本人を民族として奴隷化することや国民として滅亡させることを意図していないが、……すべての戦争犯罪人に対しては厳重な処罰が加えられることになるであろう。……
我々は、日本国政府がただちにすべての日本国軍隊の無条件降伏を宣言し、その行動における誠意について適当かつ十分な保障を提供することを要求する。

c

3 大国の指導者は X が、……次のことを条件として連合国側にたって対日戦に参加すべきことで合意した。……
樺太南部及びこれに隣接するすべての諸島が X に返還されること。……千島列島が X に引き渡されること。……
3 大国の首脳は X のこれらの要求が日本の敗北後に確実に満たされるべきことを合意した。

1

米英ソなど 26 カ国による連合国共同宣言発表

2

スターリングラードでドイツ軍がソ連軍に降伏

3

イタリア・バドリオ政府が無条件降伏

4

連合軍がノルマンディー上陸を開始

5

ドイツが無条件降伏

6

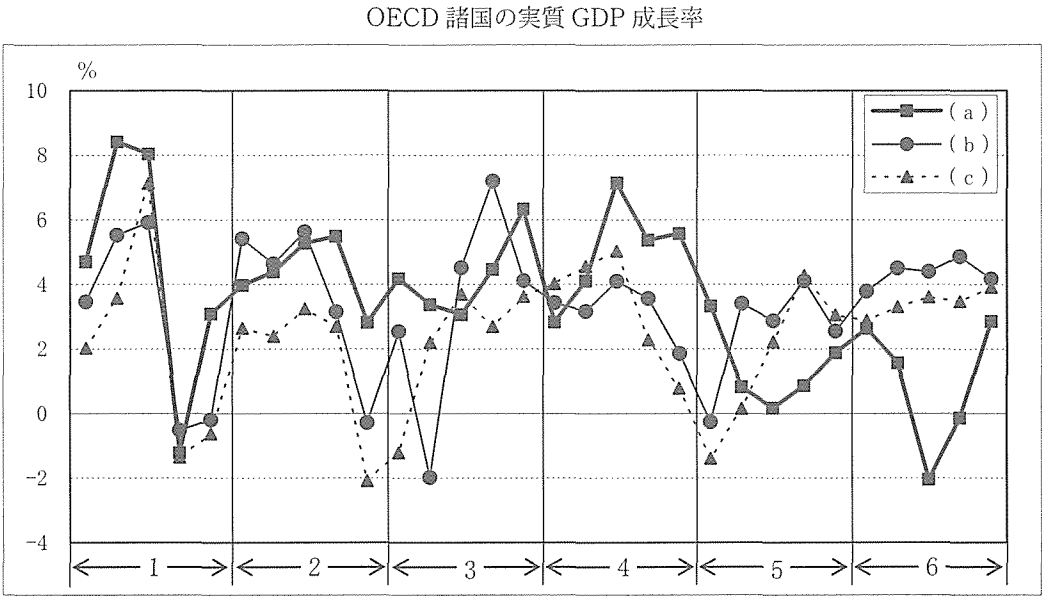
広島に原子爆弾投下

7

問19 下線部 D に関連して、ベルリン封鎖の開始から解除に至る経過を、この間の米ソ両国の自陣営強化策を含めて 〔解答欄 B〕 の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問20 下線部 E に関連して、米ソの核軍拡競争の推移を 1949 年から 1950 年代末までについて、〔解答欄 B〕 の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問21 下線部 F に関連して、下の図は経済協力開発機構（OECD）成立以降のある30年間について、OECD 加盟国のうちの3カ国の実質 GDP 成長率の推移を示したものである。図の横軸の1～6は5年ごとの時期区分である。この図に関連する以下の（1）～（3）に答えなさい。



[資料出所] OECD.Stat Extracts より作成.

（1） 図中の（a）～（c）に入る国名の組み合わせとしてもっとも適切なものを次の1～4から選びなさい。

	1	2	3	4
（a）	アメリカ	イギリス	ドイツ	日本
（b）	イギリス	ドイツ	日本	アメリカ
（c）	ドイツ	日本	アメリカ	イギリス

ドイツは時期によっては西ドイツのみ。

（2） 1の時期の4年めに3カ国とも実質 GDP 成長率がマイナスになっているが、これはその前年に起こった出来事の影響である。この出来事の経緯を〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

（3） 次のa～dは1～6のどの時期の出来事か、それぞれ図中の番号を所定の解答欄に記入しなさい。1の時期より前の出来事の場合は0を、6の時期より後の出来事の場合は7を記入しなさい。（重複使用不可）

- a. ドル高是正のための先進5カ国（G5）のプラザ合意が成立した。
- b. イギリスで労働党内閣に代わって保守党のサッチャーが首相に就任した。
- c. ヴェトナム戦争の和平協定が成立し、アメリカ軍がヴェトナムから撤退した。
- d. ポーランドの自主管理労働組合「連帯」が総選挙で勝利し、東ドイツのホーネッカー書記長が辞任した。